



サロン桜や

昭和30年代に建てられた日本家屋を就労継続支援A型の事業所に用途変更する改修工事。シニア向け多目的レストラン事業用に厨房の整備をするとともに、床の間、付け書院、脇床を具える格式ある二間つづきの和室と広縁を客席空間としてリフォームした。コストの要請から構造体の改変は行わず、庭とのつながりを生かしながら丁寧なつくりの建具や天井材の色彩、床・壁仕上げの変更にとどめる。従前とは一変した空間で、利用者も来店客も心地よいひと時を過ごしている。

- 1 客席
- 2 広縁
- 3 マッサージ前室